

# 次世代インフラの「5G」で アメリカは勝つ

グアーファ



グーグル



アップル



フェイスブック



アマゾン

G A F A (グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン) この4社をまとめてアメリカ側をグアーファというらしい。中国側をBAT (バイドウ、アリババ、テンセント) でBATというのは変わらない。

トランプ大統領は中国とのハイテク戦争を勝利することに決めた。

中国軍のハッカー部隊がシリコンバレーなど先進のアメリカ企業からハイテク技術を盗み放題、アメリカから盗んだ技術で新商品を造りアメリカに売りつけてまた儲ける。中国からの通信機器にはスパイウェアが仕込まれていて次から次へとアメリカの情報は盗まれていく。トランプ政権が対抗処置をとることはしかたがない。

トランプ政権がZTE (中興通迅) に巨額の罰金を科し、地上局設備、通信機器などをアメリカ市場から排斥したのは当然だろう。相手は国家を挙げてのドロボウ集団なのだ。

その結果、ZTE (中興通迅) はアメリカ製の半導体が輸入できず経営危機に。言ってみれば中国の自業自得。





ファーウェイ（華為技術）のスマホはアメリカの連邦職員、アメリカ軍、公務員、警察で使用が禁止されている。スパイウェアが仕込まれアメリカの情報が自動的にダダ洩れとなる。ファーウェイ財務担当副社長（CFO）孟晩舟を①スパイ容疑、②イランへの不正送金で拘束。中国政府はカナダ人数名を検挙拘束。



華為技術財務担当副社長（CFO）孟晩舟氏

話をアメリカ・中国のハイテク戦争に戻す。

アメリカの強い姿勢にイギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドが同調、日本も自粛を表明。

つまり、ZTE（中興通迅）・ファーウェイ（華為技術）を排撃してアメリカサイドについた。さらに、日本は日米欧で「データ流通圏」を形成。機密データなどが圏外に流出した場合は課徴金を課す、というシステムを検討している。

BAT陣営はどうか。

10億人を超えるビッグデータをたっぷりため込み中国共産党一党独裁政権だからBAT（バイドゥ、アリババ、テンセント）は党の命令を聞かざるを得ない。アメリカと中国のハイテク戦争は「ハイテク冷戦」となった模様。

